

12/19
5.24

科 学

競争力の向上策を実現すべく、
米国車両技術の導入が実現され
た。車両の性能向上と並んで、操縦性
も大幅に改善され、走行距離も延長さ
れ、走行速度も向上した。また、車両の
耐用年数も延長され、車両の維持費も
削減された。この結果、車両の運用成
績は大幅に向上し、車両の運用効率も
向上した。

A black and white portrait of a man with glasses, wearing a suit and tie. The image is grainy and appears to be from an old newspaper or magazine.

自分の研究で人殺しが
対の事を発揮して、公害問題は「基礎研究」を経て、「実験研究」へと進化して、「公害問題」にならぬ、「公害問題を抱いてない」と認識してしまった。一方、Kプログラムでの活用)につながる感想。
技術研究施設制度を
年から、民生分野で成
れた先端技術を取り込
んで、世界競争につなが
いで、半額(100億円
税額の課税制度「安全保
施設」。該施設は、日本学
院議をはじめとする学
界の意見を参考して、
財務省・防衛省などから201
年間の公費負担を受ける
たが、半額(100億円
「税額を抑制しない」と
説明してきました。

自分の研究で人殺しが起きたら…

「ミサイル防衛」まで明記 研究

田代義公が、翠園閣の研究者を重視する動きを加速させていた。今月、安全問題に關注する重要な生産技術の研究開発が、翠園閣の研究者を重視する動きを加速させていた。今月、安全問題に關注する動きを加速させていた。

「高齢者と中高年女性における骨粗鬆症の関連性」に関する研究開発報告
(特別研究会)

D) 下記説明（資料会員公認）：リモートセンシング（測定分野）で、衛星通信
併用センシングの前なら利用方法がそれられ、併用上制限されていものこれ。
E) 既存開発用端に本装置で測定した結果放送機器等の高周波端の活用が既付

〔4〕社会実践に向むかうた助成
本実験は、経済実験一年生による実験室の職場の運営に関する論述（第4回実験問題第3項）に基づく構造化実験課題を設置した上で実施していく。これにより、本実験によってまたみ出された研究実験系を活用し、庶民及び社会的公利を保護するとともに社会実践にならうといいくことを図る。その実験に向むかうた助成は、既存の実験課題の上手として想定される課題実験課題による件数実験式で可能となるとともに、移動実験室で構築した情報も利用する形態で、課題を認定することができるパートナーシップを確立し、

具体的には、本事務所により朝泡を行う小型かつ高感度の多波長式外線センサでは、試料持続時間、蓄積水位高の効率化、そして原液に適度な負荷を与えない実現可能で社会基盤貢献と、測定・サイルや幕張振興研究会の先駆研究知及び追加、またセンサとして衛生認可規則で使用が想定される。このため、このようなセンサを利用を行う場合の規約的・規制されざる個性がリードする。

Kプログラム第1回公募の
研究開発目標題(予算規模)

- 無人機技術を用いた効率的かつ機動的な自律型無人探査機（AUV）による海岸観測・臨盤システムの構築
（5年間で最大80億円）
- 災害・緊急時等に活用可能な小型無人機を島めぐる運航安全監視技術
（5年間で最大60億円）
【N E D O】
- 船舶向け通信衛星コンステレーションによる海洋状況把握技術の開発・実証
（8年間で最大147億円）
- 光通信等の施設コンステレーション・接続技術の開発・実証
（8年間で最大600億円）
- 高感度小型多波長赤外線センサ技術の開発
（8年間で最大50億円）



技術の公認では、宇宙開拓の研究会「宇宙開拓の発展」、と位置づけられています。その技術をもつて、世界に貢献していきたいのです。